

带状疱疹の予防へ大きな前進

ワクチン定期接種化へ

横浜市会議員

仁田まさとし

皮膚に痛みやかゆみを伴う発疹が帯状に現れる「带状疱疹」について、国が今年4月から65歳以上の方を対象に、予防に有効とされるワクチンを定期接種化する方針を固め、接種費用の一部が公費負担となります。

自己負担額軽減

定期接種化により、これまで全額自己負担で4万円超だった費用の一部が公費負担となり、自己負担の軽減が図られま

す。定期接種の対象は65歳の方。また、5年間は65歳を超える5歳ごの方も対象となります。

带状疱疹ワクチンの接種は費用が高額なため、公費助成を可能とする定期接種化を望む声が多く寄せられてきました。公



仁田まさとし プロフィール

- 健康福祉・医療委員会
- 減災対策推進特別委員会

◇施政方針は「動く、創る、変える。」
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
f X ライン 情報発信中

地域交通に新制度創設

使って罹患状況を調査した。今回の国の方針決定し、その結果を厚労省へ提供するなど、意欲的な取り組みを進めています。

昨年12月の市会第4回定例会では、市から地域主体でバスやワゴン車を走らせる「地域交通」の新制度を4月に創設することが示されました。

課題提起から17年

公明党市議団は07年に「横浜21ビジョン」を策定し、政策プランの中で

「約50カ所」に対して市が意向を確認し、導入を検討します。採算が厳しい場所でも運行できるように、車両等の費用や運行経費の50%以下、かつ上限600万円(年)などが補助されます。

さらに、敬老パスを地域交通にも適応し、運転免許証を返納された方(75歳以上)の敬老パス

私は今年も市民の健康を守る取り組み、地域の総合的な移動サービスの充実に取り組みます。